

福祉のかけ橋

平成22年9月号

第52号



農村高齢者の役目

南山見老人クラブ連合会

会長 箭原健作

私達の住む南山見地域は、古来より受け継がれてきた田や畑、そして山林等に包まれた、緑豊かな田園地域であります。

若い頃はそれぞれの立場で農業を守りながら、兼業として社会に貢献してきました。その自分も今は高齢者となり、農業構造の変化に伴ない、農業生産は営農組織化されました。

しかし営農組織化されたとしても、農村高齢者は農業という生産活動を軸として、社会関係や地域においては、なくてはならない役目を課せられているのではないのでしょうか。

それは、水田の水管理や草刈、地域環境保全活動等々、まだまだ活動の場はたくさんあります。

社会に出て働ける兄ちゃんや嫁さんには、心おきなく社会で活躍してもらい、我々老人は家庭や地域の留守番役に努めたいものです。

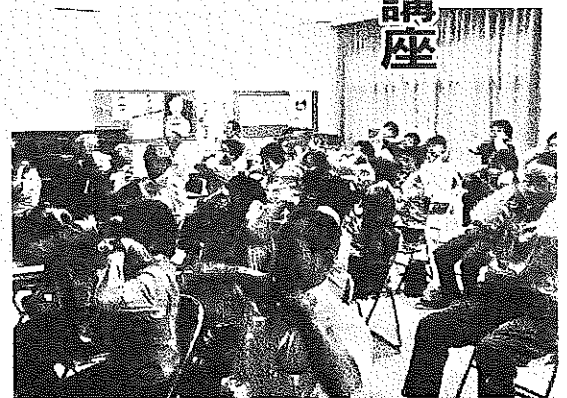
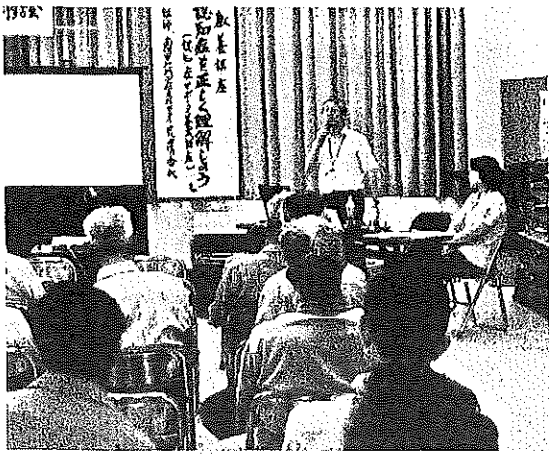
都会では幼児の虐待やお年寄りの所在不明、誰にも看取られない孤独死、年金あての死亡届無し、思いもしない家族の絆崩壊、お互いに助け合って「この地域に生かされて良かった」「嫁に来て良かった」と、親しく、楽しく語り合える地域の役目をなしたいものです。

第一回 合同学習

八乙女福祉カレッジ教養講座

物忘れを感じ「あの、これ」が目立つこの頃。老人クラブと地区社協から6月16日開催のサポーター養成講座の案内が来た。

「認知症を学び地域で支えよう」をテーマに南砺市地域包括支援センターの方からスクリーンに映る「ゆとりつち体操」、椅子に座りながら身体と頭を柔軟にし、南砺市の高齢者の現状や施策と認知症について講義を受けた。



認知症は脳の病気で以前はボケとか痴呆といわれていた。また高齢社会では誰でも発症し、日頃から認知症の正しい知識を得ることが必要とビデオなどを通して学んだ。

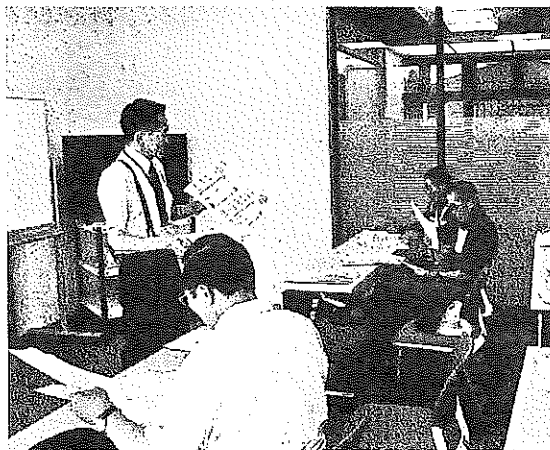
本人の記憶が壊れ不安になり、日常の行動ができにくく、人との関係にトラブルり、周囲が困惑・混乱すること。症状を察知し、医療関係機関や症状の対応方法等速やかに行動できることが大事であるが、本人や家族での解決は困難な事が多く、近隣やサポーターの役割が必要且つ重要である事を学習した一日でした。

(井上智子)

先進地福祉施設視察研修会に参加して

知る葉グループ 長田綾子

七月二十一日、猛暑の中、研修者十九名は今春三月一日にオープンした高齢者福祉施設『ちゅーりっぷの郷』を見学。全館バリアフリー、安心のデイサービス、医療機関も入居し現代にマッチした賃貸住宅で全国的にも珍しい施設で感動しました。アローザ温泉で皆さんと親睦を深めました。次は光



徳寺へ参拝し、昭和二十年四月、戦火をのがれた、棟方志功師の『華厳松』を始めとし立派な作品をたくさん鑑賞でき嬉しかった。最後の研修地、福光美術館へ、丁度井波別院瑞泉寺収蔵品が展示されていて学芸員の方から説明を受け本当に良かったと思えました。今後も少しでも福祉に関心を持ち続ける事が大切だと思います。

老人クラブサロン紹介シリーズ④

沖老人クラブ
沖福寿会
ふれあいサロン沖

沖福寿会長
川縁文治

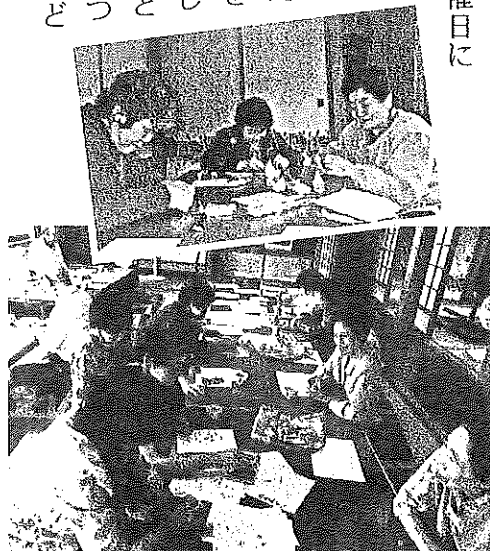
私たちふれあいサロン沖は、
会員54名で、サロン開催日には
35名前後の出席をい
ただいております。

平成22年度事業とし
て、4月20日会員の健
康のための血圧測定を
実施したのをはじめとし
て、会員への友愛訪問と
して千羽鶴の作成、ぬりえつ
くりをサロンの日の余暇など
におこなっております。

今後、9月にはお彼岸に「ぼた
もちづくり」を計画しており、会
員のお楽しみ会としたいと思っ
ております。

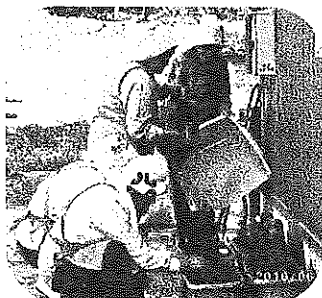
サロンを直訳すると（会の集まり）
とされており30名の集落の公民館
なので狭く、村へお願いし拡張し
ていただき、引きこもりがちの会
員も余裕をもって、サロンで楽し
める集まりにしたいと思っ
ております。

これからも老人の生きがいの場
ふれあいの場、として意義のある
集会になるようにしていきたいと
思っております。



環境美化

について



仕事が終わってから、色とりど
りの花が咲いているのを見ると、

疲れた
と思う
事なく
花に一
言話し
掛けた
くなる
ような

気がします。

「一つ一つ」ていねいに、大き
く、優雅な花が咲くように、願
いをこめて植えました。

毎日一生懸命咲いている花の
命の力強さを感じます。

今年のように、毎日「あついで
花もがんばっています。

秋になって枯葉が落ちる姿を
見ると、来年もまた一粒の種か
ら芽を出して美化の字のごとく、
花を咲かせてくれると思います。

(知る葉グループ 岩崎美津子)

マージ園祭復活
施設長 斉藤清志

マーシ園療護ホーム



突然の雨。朝から
晴天を前提に準備を
進めてきたが、この
まま雨ならば食堂で
の開催となり、盛り
上がり欠けてしま
う。幸い、雨も上が

り打ち水効果で和らいだ会場で準備を再開。

澤田自治振興会長さんから「マーシ園を見守る心のボランティアを続けていく」と励ましの言葉を頂戴しオーブンとなりました。

フランクフルトなどの模擬店に多くのボランティアの皆さんに関わっていただき感謝しております。ステージでは、障がいのあるメンバーを含むバンド演奏や利用者の氷の彫刻などマーシ園らしさが醸し出されていたと思います。これからも協力を得て、地域の夏の風物詩として定着することを願っております。



平成22年度 南山見地区社協事業経過

(平成22年4月～8月)

年月日	実 施 事 業	場 所
H22 4. 14	合同役員会 平成21年度定期総会提出議案について	南山見公民館
4. 18	21年度定期総会 21年度行事、決算報告承認の件 22年度行事計画、予算計画承認の件。その他	"
5. 7	合同役員会 22年度行事計画について 役員の専門部会(作業部会)の分担について	"
5. 18	ケアネット活動推進合同会議	"
6. 3	平成22年度緑化関係事業(花苗、肥料、花鉢配布)	地区内
6. 16	高齢者学級、社協合同学習会 認知症地域サポーター養成講座 講師 南砺市地域包括支援センター 荒田清香・山田利浩両氏	南山見公民館
7. 6	合同役員会 敬老会事業、先進地福祉施設視察研修会について	"
7. 21	先進地福祉施設視察研修会 JAちゅうりっぷの郷福祉施設、福光美術館、光徳寺見学	砺波、南砺市内
8. 12	広報委員会	南山見公民館
8. 21	合同役員会 敬老会事業、地区社協活動活性化事業について	"
8. 31	広報委員会	"

「長寿国日本」と見守り活動

日本は世界一の長寿国といわれ100歳以上の人も4万人に達する状況にある。

新聞等で高齢不明者の多いことが今になって発覚報道されている。届出主義の限界ともいわれ、行政サイド一編等もどうかと思う。

又、見守りの義務のある民生委員は

厚生労働省が委嘱する、無報酬の地方公務員、仕事は高齢者や障害者等、支援が必要な人への訪問や相談、助言のほか児童虐待やひきこもり等で、専門機関との連携など広範囲に及ぶ。

国が定めた民生委員も一人当りの担当件数も200〜400世帯と幅があるとされているが、人数を増やせばよいというものでもない。地域の「見守り力」の乏しさ、他人との関係の希薄化、住民と行政の橋渡し役の民生委員の仕事が複雑になる一方で人手不足も深刻と言える。

幸い当地区は他人のことをより心配する良い風土も有るが、高齢者側から見れば「ひっそり生きたい」というのも本音も受ける部分も多い。

実践して見て解る本人との接触が、見守り活動にたどり着けない部分も多く苦悩も続くのも事実なのです。

年々希薄化が進む地域の連携「絆」が忘れさせようとしていく事への不安だけが残るのが残念でもあります。

核家族化に伴い親子関係が疎遠になっ
ていないか、地域一体で考えるのは勿
論だが足元の自分の家庭から、見つけ
なおすことが何より大切なことだと思
うのは私だけだろうか……。

(小橋外喜雄)

当面の行事予定

① 合同ミニサロンと

「敬老の集い」

9月19日(日)午後2時開会
満75歳以上の方々をご招待、今年目
出度く米寿を迎えられる方々には南
砺市長からお祝いされます。式典・
米寿表彰・法話・アトラクション等
お楽しみが沢山あります。

② 第22回ボランティア

もう一人運動展開実施

10月6日(水)午前9時受付
利用者との心のふれあい交流もあり
ます。マーシ園にて

③ 第二回八乙女福祉カレッジ 教養講座

(高齢者学級・社協合同)

11月12日(金) 秋の交通安全教室
講師 井口駐在所 阿原朋紘氏

④ 歳末施設見舞い、歳末見舞い慰問実施

12月20日〜27日、80才以上の高齢者、
75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に
見守りふれあい交流目的として実施

編集後記

とにかく暑かった今年の夏。
県内は最高気温が30度以上にな
る真夏日が毎日のように続き、
想像以上です。毎日の飲物が
欠かせません。全国各地で熱中
症、海や川、プールでの水の事
故も連日のように伝えられている。加
えてこの夏の暑さは、熱中症患者をか
つてないペースで出している。全国で
病院に搬送された人はこの七、八月で
三万人を突破し、直後に亡くなった人
は130人を超えた。搬送された半数近く
が高齢者という厳しい残暑がまだ続く。
雲上は爽快だろうし、まだまだ水も恋
しい。真夏日はまだ続く、しっかりと
休息を取り、マメに水分補給をするな
ど、体調管理には充分気をつけましょ
う。(熱中症)

発行者	所在	発行	号数
南山見地区社会福祉協議会	富山県南砺市川原崎 南山見公民館内	平成二十二年九月	第五十一号

◎ 読んだら綴りましょう